ONKYO®

USBデジタルオーディオプロセッサー

SE-U55

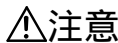
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書とともに大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに USB ケーブルをはずし、AC アダプターをお使いの場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社サポートセンターに修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーは外さない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対に外さないでください。内部の点検・整備・修理は当社サポートセンターに依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V 以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- ACアダプターをお使いになる場合は、表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。

■ 水のかかるところに置かない

風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

本機の通風孔から金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、USB ケーブルをはずし、AC アダプターをお使いの場合は、AC アダプターをコンセントからぬいて当社サポートセンターにご連絡ください。

■ AC アダプターのコードを傷つけたり、加工しない

- ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)当社サポートセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものを載せてしまうことがあります。
- AC アダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

■ 落としたり、破損した状態で使用しない。

万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず当社サポートセンターにご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら機器に触れない。

雷が鳴り出したら、製品本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台や、ぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

本機を他のオーディオ機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 本機に乗ったり、ふんだりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ ACアダプターをお使いの場合の注意

- ACアダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、ACアダプターを持って抜いてください。

- ACアダプターのコードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、USBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

お手入れの際は、安全のためUSBケーブルをはずし、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの当社サポートセンターにご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても当社サポートセンターにご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは中性洗剤を薄めた液に布を浸し、固く絞って拭きとった後、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

ソフトウェア使用許諾契約

本製品に含まれているソフトウェアをセットアップ（インストール）する前に必ずお読みください。
本製品に含まれているソフトウェアをセットアップ（インストール）すると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条　（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「CarryOn Music」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータへのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

特長

本格オーディオ設計による高品位デジタル録音・再生、タテ置きデザインですっきりスマートに接続。

■ **USBで簡単接続、高品位なデジタル録音/再生**
USBケーブル1本でパソコンサウンドが本格オーディオクォリティの音質に変身。

■ **ノイズを徹底的に低減するオーディオ回路設計**
オーディオノウハウが投入されたオリジナル回路でノイズを徹底的に低減しています。

■ **多彩な入出力端子でオーディオ機器と簡単接続**
光/同軸のデジタルIN/OUT、アナログIN/OUT、MIC IN、ヘッドホン端子を装備。CDやMDと接続したデジタル録音/再生*が簡単にできます。
*著作権保護されている音声データのデジタル入出力はできません。

付属のソフトウェアについて

（Windowsのみ）

■ **多彩な機能を搭載したデジタルオーディオソフト「CarryOn Music™（キャリオン・ミュージック）」**

WAVE、MP3、WMA、MIDIファイルを一括してデータベース管理できるライブラリ機能、高音質・高速でのMP3、WMAエンコード、CDDB²からのタイトル取得、外部入力したサウンドデータのMP3変換機能など、音楽を自在に操るオリジナルのデジタルオーディオソフトです。

■ **プロフェッショナルなオーディオ制作/編集ソフト「DigiOnSound™ Light(デジオンサウンド・ライト)」**
ハイスペックな機能が満載のマルチトラックサウンド編集ソフト。

（Mac/Windows共通）

■ **世界初！音楽に連動して映像が動く「Rhythmic Circle FUSE（リズミック・サークル・フューズ）」**
Rhythmic Circle FUSEは、画像とエフェクト機能を組み合わせ、音楽の再生中に次々と映像を変化させることが可能なVJソフト。

*付属のソフトウェアはすべてWindows98/98SE、Me、2000対応です。

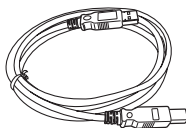
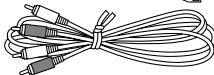
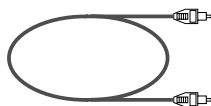
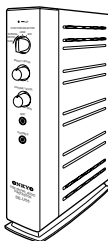
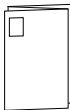
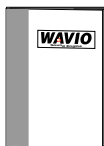
はじめに

このたびは、WAVIO（ウェイビオ）USBデジタルオーディオプロセッサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、WindowsまたはMacOSの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- WAVIO Sound Engine、CarryOn Musicの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
- DigiOn、DigiOn Soundの名称およびロゴは株式会社デジオンの商標です。
- 本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。

製品構成（付属品）

■ 製品構成

本機には次のものが付属しています。お確かめください。（　）内の数字は数量を表わしています。

- **取扱説明書（本書）（1冊）**
  本機（SE-U55）をパソコンに接続するための設定、およびご利用方法の説明書です。

- **CarryOn Music取扱説明書（1冊）**
  付属のソフトウェア、CarryOn Music™（キャリオン・ミュージック）をご利用いただくための説明書です。

- **保証書兼お客様登録カード（1枚）**
  本保証書は、お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合に、無償で修理を行うことをお約束するものです。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- **CD-ROM（1枚）**
  本機（SE-U55）をご利用のパソコンで利用するためのソフトウェアを収録しています。

- **SE-U55（本体）（1台）**
  USBデジタルオーディオプロセッサー本体です。パソコンサウンドを本格オーディオクオリティの音質でお楽しみいただけます。

- **光デジタルケーブル（1本）**
  本機（SE-U55）とデジタルオーディオ機器（MDプレーヤ、CDプレーヤなど）を接続するためのケーブルです。

- **オーディオ用ピンコード（1本）**
  本機（SE-U55）とアナログオーディオ機器を接続するためのケーブルです。

- **USBケーブル（1本）**
  本機（SE-U55）と、ご利用のパソコンを接続するためのケーブルです。

お知らせ

本機の電源はUSBケーブルを通してパソコンから供給されます。ACアダプターは付属されません。

目次

安全にお使いいただくために 2
ソフトウェア使用許諾契約 4
特長 5
はじめに 5
製品構成（付属品） 6
各部の名称 8
接続例 10
Windowsをお使いの場合 11
- 接続をはじめる前に 11
- 接続のしかた 12
- パソコンの設定 14
- 録音のしかた 19

Macをお使いの場合 25
- 接続をはじめる前に 25
- 接続のしかた 26
- パソコンの設定 28
- 録音のしかた 31

FUNCTION SELECTORについて 35
コピーガードシステムについて 36
FUSEについて 38
Acrobat Readerについて 41
故障かな？と思ったら 42
主な仕様 47
修理について ..... 裏表紙

各部の名称

［　］内の数字は、Windowsの参照ページを表しています。
【　】内の数字は、Macの参照ページを表しています。

■ 前面

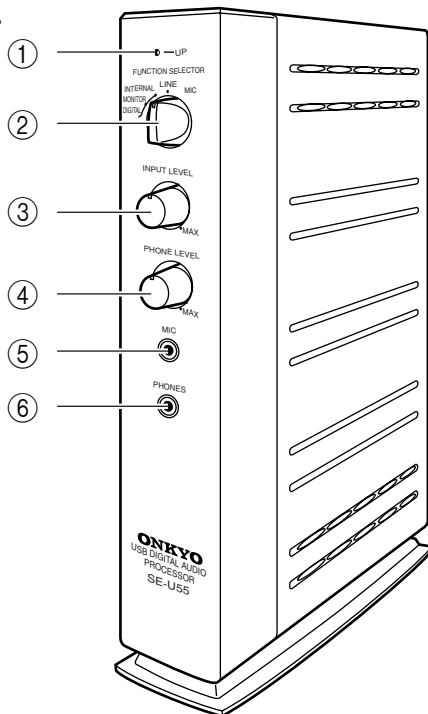
① **動作確認インジケーター（UP）**
点灯・点滅することで本機の動作状態を表します。下記の「動作確認インジケーターについて」をご覧ください。

② **入力切り替えスイッチ（FUNCTION SELECTOR）**
［20、22、23、24、35］
【31、33、34、35】

③ **入力レベル調整つまみ（INPUT LEVEL）**
［21］【32、33】

④ **ヘッドホンレベル調整つまみ (PHONES LEVEL)**
ヘッドホンを接続しているときにヘッドホンの音量を調整します。

⑤ **マイク入力端子（MIC）［13］【27】**
モノラルミニプラグのマイクを接続します。

⑥ **ヘッドホン端子（PHONES）**
ステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。

動作確認インジケーターについて

インジケーターの状態	本機（SE-U55）の状態	ヒント
1. 連続点灯	通常動作している。	
2. ゆっくり点滅（１秒周期）	WIN/MAC、ANA/DIG（アナログ/デジタル）（※）などの動作状態の設定中。	パソコンに接続直後、およびANA/DIG切り替えを実行中（ANAからDIG、DIGからANAに切替えた後、3の2回点滅を終了した後）に、この状態になります。
3. 2回点滅	ANA/DIG（※）の設定切り替えの確認中。	切替えには十数秒かかるため、誤って切り替えた時、点滅中であれば、すぐにもとの状態に戻すことができます。
4. 速い点滅（0.25秒周期）	2の設定にて、エラーが発生した。	もしエラーが発生してこの状態になってしまった時は、USBケーブルを抜き、しばらく（10秒程度）待ってから再度USBケーブルを接続します。2〜3回繰り返して直らない場合、および頻繁に起こる場合は、巻末記載のサポートセンターへご相談ください。
5. 消灯	USBケーブルが接続されていない。もしくは、SE-U55を接続したパソコンまたはハブの電源が切れている。	

※　ANA/DIG切替えとは、FUNCTION SELECTORをMIC/LINE（ANA）とINTERNAL/MONITOR（DIG）を切り替える事を示します。

各部の名称

［　］内の数字は、Windowsの参照ページを表しています。
【　】内の数字は、Macの参照ページを表しています。

■ 後面

⑦ ライン入力端子（ANALOG LINE IN L/R）
［13、20］【27、31】

⑧ ライン出力端子（ANALOG LINE OUT L/R）
［13］【27】

⑨ DC IN端子（DC IN 7.5V）
パソコンからの電源供給が十分でない場合、別売の専用ACアダプター（型番：AD-0002）を接続します。専用ACアダプターについては、巻末記載のサポートセンターにお問い合わせください。

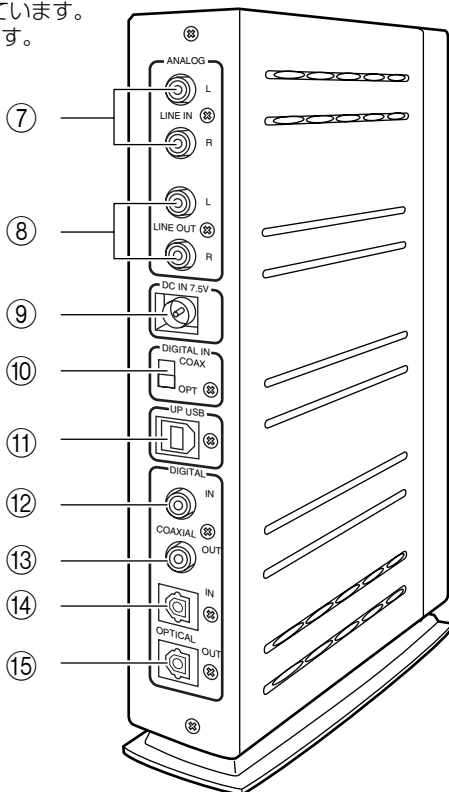
⑩ デジタル入力切り替えスイッチ［22］【33】
（DIGITAL IN COAX/OPT）

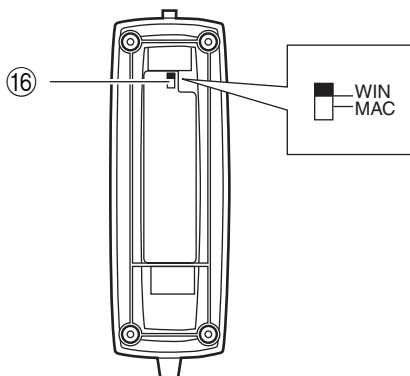
⑪ USBアップポート（UP USB）［12］【26】

⑫ デジタル同軸入力端子（DIGITAL COAXIAL IN）
［22］【32】

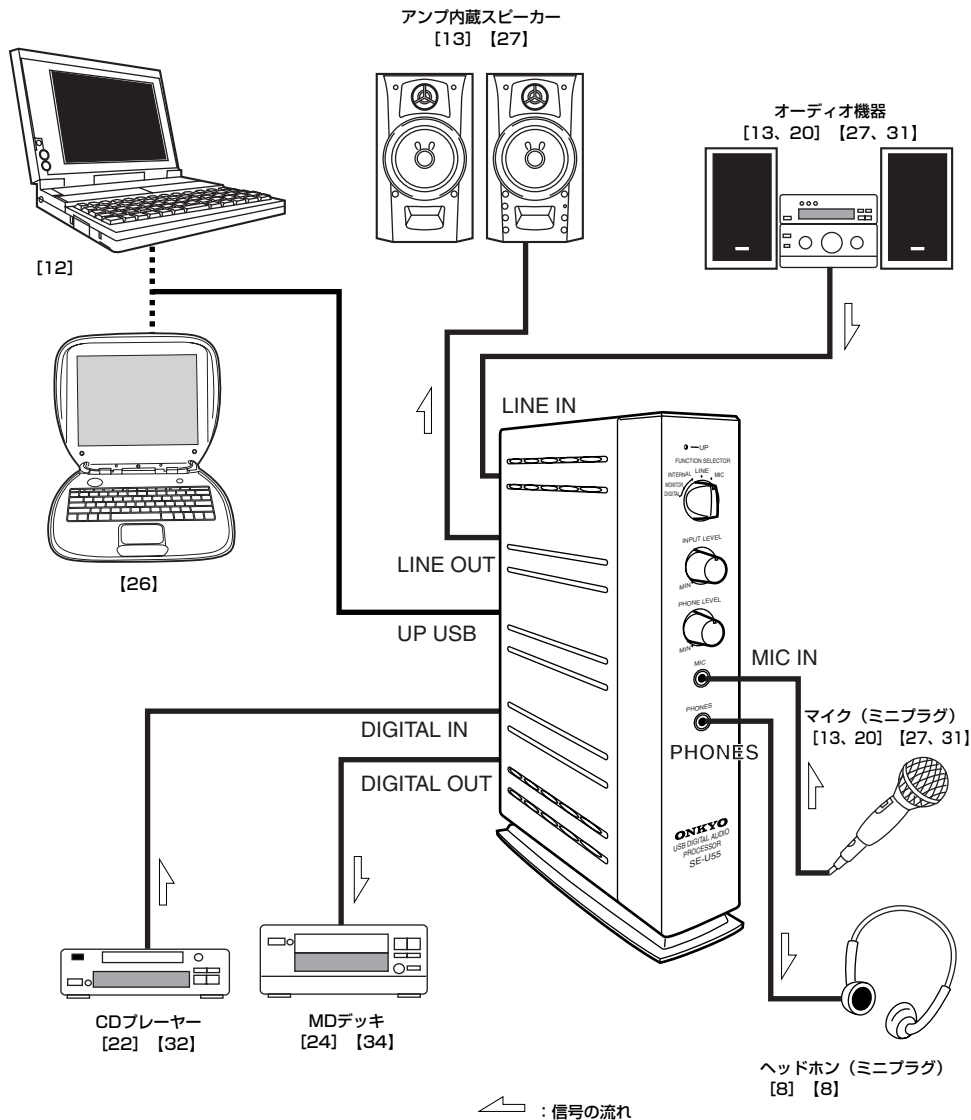
⑬ デジタル同軸出力端子（DIGITAL COAXIAL OUT）
［23］【34】

⑭ デジタル光入力端子（DIGITAL OPTICAL IN）
［22］【32】

⑮ デジタル光出力端子（DIGITAL OPTICAL OUT）
［23］【34】

■ 底面

⑯ Windows/Mac切り替えスイッチ（WIN/MAC）
［11］【25】
※工場出荷時はWINになっています。

接続例

［　］内の数字は、Windowsの参照ページを表しています。
【　】内の数字は、Macの参照ページを表しています。

■ USB PCオーディオシステム例

接続をはじめる前に（Windows）

必要なシステム構成

- USB端子を持つIntel Pentium II 233 MHz以上のPC
- 60 MB 以上のハードディスク空き容量
- 64 MB 以上のRAM
- CD-ROMドライブ（または相当品）
  付属のソフトウェアをインストールするために必要です。
- Windows98/98SE/2000/Me
- Intel製USBホストコントローラ推奨

Windowsについて

Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

必要な動作環境を満たすパソコンであっても、パソコンシリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機の動作が正常に行なわれない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は巻末記載のホームページにてご確認ください。

Windows

■ Windows/Mac切り替えスイッチの設定

接続するパソコンに合わせて、このスイッチを切り替えます。

♪ヒント

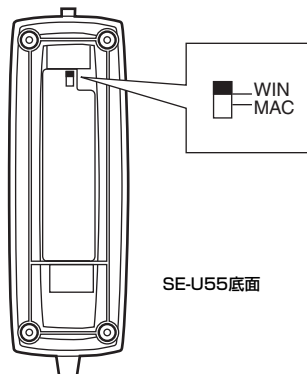
工場出荷時は、このスイッチはWIN側になっています。Windowsをご使用の場合は、スイッチがWIN側になっていることをご確認いただくだけで構いません。

1. PC本体から、USBケーブルを抜きます。
2. SE-U55の底面にあるWindows/Mac切り替えスイッチを、WIN側に設定します。
3. USBケーブルを、PC本体に接続します。

Windows/Macの切り替えが完了しました。

SE-U55底面

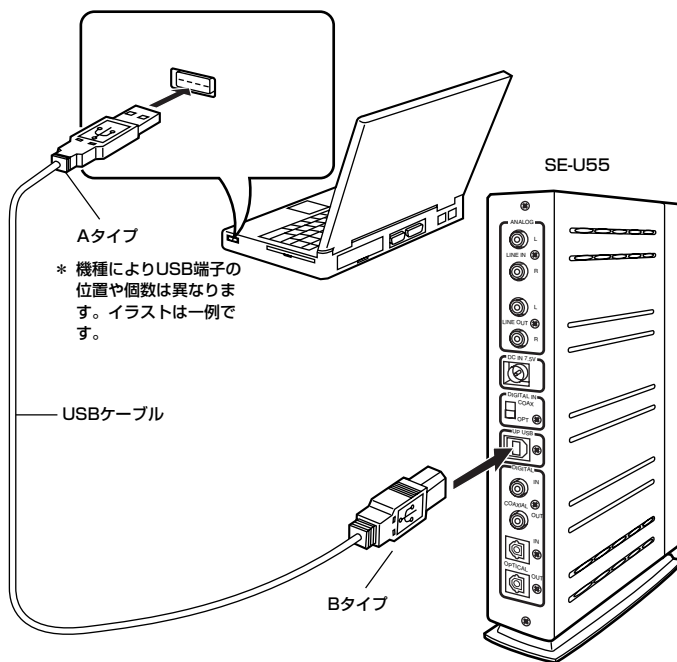
ご注意

Windows/Mac切り替えスイッチは、PCにSE-U55を接続したときに認識しますが、その後にスイッチを切り替えても認識しません。もしWindows/Macの設定を誤ってPCに接続したときは、一度USBケーブルを抜き、スイッチの設定を変更した後、再度USBケーブルを接続してください。

接続のしかた（Windows）

■ PCへ本機を接続する

1. 付属のUSBケーブルのAタイプのジャック（ ▭ ）をPCまたはPCに接続されたUSB HUB（ハブ）へ接続する。

   ♪ヒント

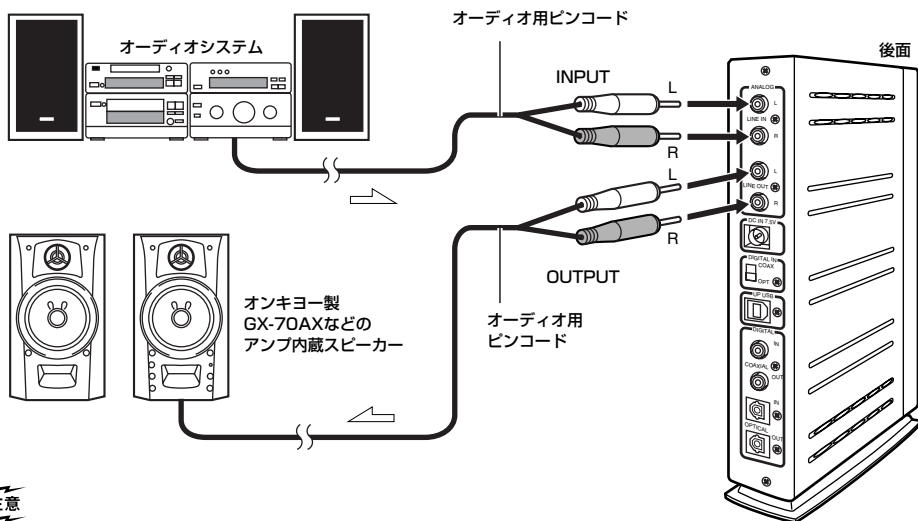
   PCのUSBポートが2個以上ある場合はどのポートに接続しても構いません。

2. Bタイプのジャック(□)をSE-U55のUSBアップポート（UP USB）へ接続する。

ご注意

- 端子の抜き差しをする場合にはスピーカーの音量を絞ってください。
- 主にノートパソコンとの接続で、USBポートへの給電が充分でないためにSE-U55を正常に認識しない場合があります。その場合は別売の専用アダプター（型番：AD-0002）を接続してください。専用ACアダプターについては、巻末記載のサポートセンターにお問い合わせください。

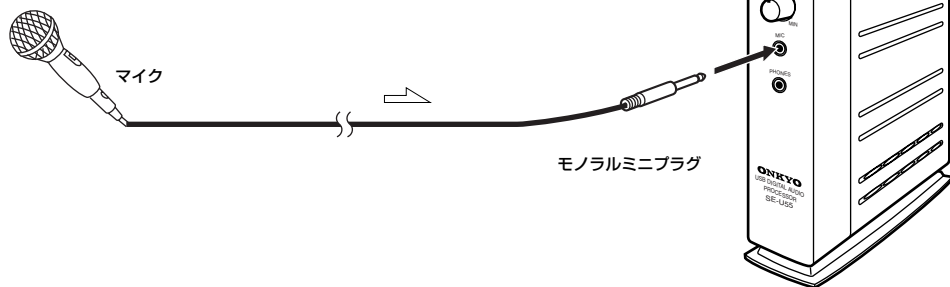
接続のしかた（Windows）

■ オーディオシステムとの接続

■ パソコン用スピーカーとの接続

■ マイクとの接続

ご注意

SE-U55に入力された音声は、SE-U55のLINE OUTから出力されます。
SE-U55に入力された音声をモニターする場合は、SE-U55のLINE OUTにアンプ付きスピーカー等を接続してください。サウンド機能を実装済みで直接パソコン本体にスピーカーが接続されているような場合、SE-U55に入力された音声をそのスピーカーでモニターすることはできません。

ご注意

USBケーブル以外の接続をするときは、接続する機器の電源を切ってから行ってください。

パソコンの設定（Windows）

■ ドライバのインストール方法

1. PCの電源を入れ、起動していることを確認してください。
2. SE-U55のUSBケーブルを接続してください。動作確認インジケーターが数回点滅した後、点灯します。PCがSE-U55を自動的に認識し、動作に必要なドライバのインストールが始まります。

   この時、動作確認インジケーターが点灯しない場合は、本機がPCを認識していません。12ページを参照し、再度PCと本機が正しく接続されているか確認してください。
3. インストール画面の指示に従ってインストールを進めてください。
4. ドライバは、「USB互換デバイス」「USBオーディオ」の順番で読み込まれます。
5. ドライバはWindowsのCD-ROMから読み込ませてください。
6. すべてのドライバが認識されたらインストールは終了です。

Windows

ご注意

「不明なデバイス」は、Windowsのバージョンによっては「USB Device」と認識されることがあります。

パソコンの設定（Windows）

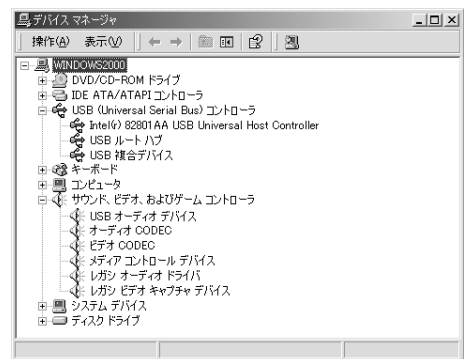
■ ドライバインストールの確認

ドライバのインストールが完了したら、SE-U55を接続した状態で、「コントロールパネル」→「システム」を開き、デバイスマネージャで次のデバイス名を確認してください。

1. サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ
   - USBオーディオデバイス（USB Audio Device）
2. ユニバーサルシリアルバスコントローラ
   - USBルートハブ（USB Root Hub）
   - USB互換デバイス（USB Compatible Device）

Windows98/98SE/Me の場合

「コントロールパネル」→「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択します。

Windows2000の場合

「コントロールパネル」→「システム」を開き、「ハードウェア」タブを選択、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

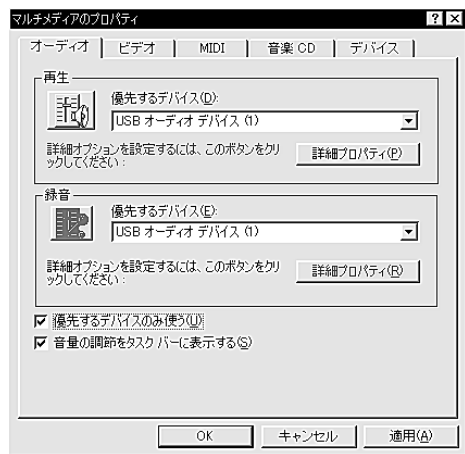
♪ヒント

- ユニバーサルシリアルバスコントローラの欄に「不明なデバイス」として認識されている場合は、SE-U55のUSBケーブルを一度抜いた後、再度接続して、デバイスを再認識させてください。
- 上記デバイスが正常に認識できない場合は、PCのメーカーにお問い合わせください。

パソコンの設定（Windows）

■ オーディオデバイスの確認

「コントロールパネル」→「マルチメディア」（「サウンドとマルチメディア」）を開き「オーディオ」タブをクリックします。再生（音の再生）および録音の「優先するデバイス」がUSBオーディオデバイスになっているか確認してください。別のデバイスが設定されている場合は、USBオーディオデバイスと設定してください。設定が完了したら、「OK」をクリックしてください。

Windows98/98SEの場合

「コントロールパネル」→「マルチメディア」を開き、「オーディオ」タブを選択します。

Windows2000/Meの場合

「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開き、「オーディオ」タブをクリックします。

♪ヒント

USBオーディオでは、録音側の音量設定はハードウェアで行いますので、録音アイコンは点灯しません。優先するデバイスにUSBオーディオが選ばれていれば正常に認識されます。

■ ボリュームコントロールについて

タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。ボリュームコントロールパネルが開きます。タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」を開いてください。

♪ヒント

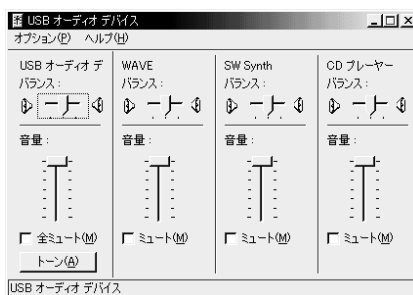
Windows98/98SEの場合は、「コントロールパネル」→「マルチメディア」を開き、「オーディオ」タブで「音量の調整をタスクバーに表示する」にチェックを入れると、タスクバーに表示されるようになります。
Windows2000/Meの場合は、「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開き、「サウンド」タブで「タスクバーにボリュームコントロールを表示する」にチェックを入れると、タスクバーに表示されるようになります。

Windows

パソコンの設定（Windows）

① **バランス**
左右の出力バランスを変更します。
Microphoneはモノラル入力ですので、バランスの調節は必要ありません。

② **音量スライダー**
再生ボリュームをすべてMAX（上へスライド）にしてください。

③ **ミュート**
再生の音声を消すときにチェックボックスにチェックをつけます。

■ 音楽CDを再生する設定の確認

Windows98/98SEの場合

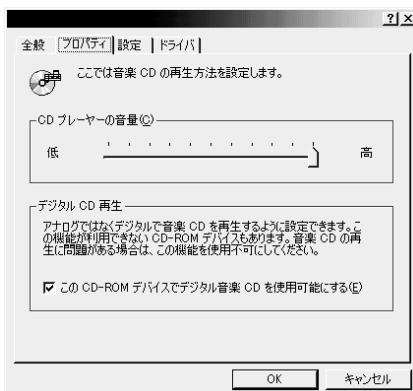
1. 「コントロールパネル」→「マルチメディア」のプロパティを開き、「音楽CD」を選択してください。
2. 音楽CDを再生するためのドライブを選択し、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスにチェックをつけてください。
3. 「OK」を押してウィンドウを閉じてください。

Windows98/98SEの画面

Windows2000/Meの場合

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「システム」を開きます。
2. (「ハードウェア」タブを選択し［Windows 2000の場合］、)「デバイスマネージャー」ボタンをクリックします。
3. 目的のDVD／CD-ROMドライブの「プロパティ」を開き、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスにチェックをつけてください。
4. 「OK」をクリックして、ウインドウを閉じてください。

ご注意

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスはSE-U55が認識されていない、または、CD-ROMドライブがデジタル出力に対応していない場合は、チェックできません。必ずSE-U55を接続した状態で作業を行ってください。

Windows2000/Meの画面

パソコンの設定（Windows）

■ 音楽CDの再生

1. 音楽CDをCD-ROMドライブにセットします。
2. 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「CDプレーヤー」（Windows Meの場合は「メディアプレーヤー」）を選択、お好みのトラックを選択し、プレイボタンをクリックします。

Windows98/98SEの場合

Windows2000の場合

3. 選択したトラックが再生されます。

Windows

■ WAVEの再生

1. 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「メディアプレーヤー（Windows Media Player）」を選択し、メディアプレーヤーを起動します。
2. 再生したいWAVEファイルをメディアプレーヤーにドラッグ&ドロップするとWAVEファイルが再生されます。

音楽CDの再生やWAVEファイルの再生は付属のCarryOn Musicでも行えます。
具体的な操作方法などは、CarryOn Musicの取扱説明書をご参照ください。

録音のしかた（Windows）

ここでは付属のDigiOnSound Lightを使った録音の方法をご紹介します。

■ DigiOnSound Lightのインストール

DigiOnSound Lightのインストール方法

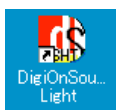
1. はじめにそれまで実行していた全てのアプリケーションを終了してください。
2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
3. 「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMが接続されているドライブを開いてください。
4. CD-ROMから「DigiOn」フォルダを開きます。
5. 右図ウィンドウで「Sound」フォルダを開き、その中にある「Setup.exe」をダブルクリックすると、インストールを開始します。

6. インストールの準備が終了すると、インストール画面が表示されます。案内に従って作業を進めてください。途中で名前、会社名、シリアル番号を入力する画面があります。シリアル番号**「DGON-003-763357-9FW8G5」**（裏表紙参照）を入力し、次へ進んでください。

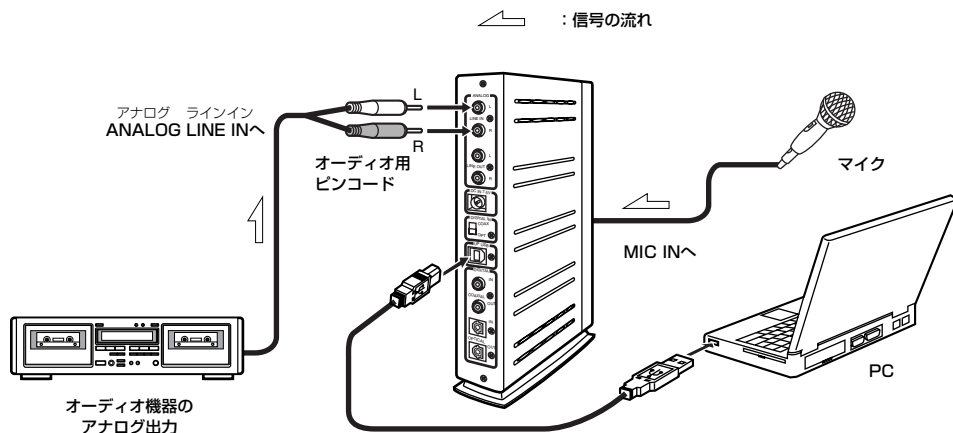
7. ファイルのコピーが終了すると、セットアップの完了画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックし、インストールを終了します。

♪ヒント

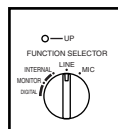
セットアップ完了画面で「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックを入れるとデスクトップにアイコンが自動作成されます。

DigiOnSou...
Light

録音のしかた（Windows）

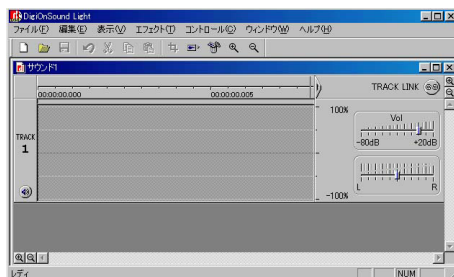
■ マイクやLine入力のアナログ音声をパソコンに入力する

1．アナログ再生させる機器を図のようにSE-U55本体に接続します。

ご注意

レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーを通して接続するか、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーをお使いください。

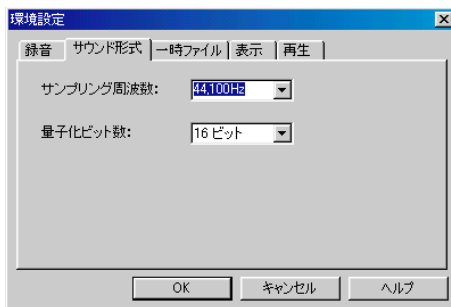
2．SE-U55本体のFUNCTION SELECTORを録音するソースに合わせ、「LINE」または「MIC」に切り替えます（35ページ参照）。動作確認インジケーターが点灯しているかご確認ください。

ご注意

「MONITOR」や「INTERNAL」などのデジタル入力から「LINE」や「MIC」に切り替えた場合は、動作確認インジケーターが点滅したあと点灯に変われば切り替え完了です。

3．DigiOn Soundを立ち上げ、「ファイル」→「新規作成」を選択し、新規マルチトラックウインドウを開いておきます。

録音のしかた（Windows）

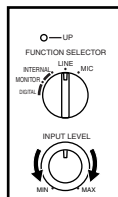
4. サンプリングレートを44.1kHz、16bit、ステレオに設定します。サンプリングレートは「ファイル」→「環境設定」→「サウンド形式」で選択します。ステレオ/モノラルはコントローラーウインドウで選択することができます。

ヒント

より良い音声で楽しんでいただくために、録音にご利用されているお手持ちのソフトウェアでもサンプリングレートを44.1kHz、16bitステレオに設定されることをお勧めします。

5. 試しに録音するソースを再生し、「コントローラー」ウインドウの「レベルモニタ」画面を見ながらINPUT LEVELつまみで録音レベルを調節します。

コントローラーウインドウの表示
「表示」→「コントロール」にチェックを入れる

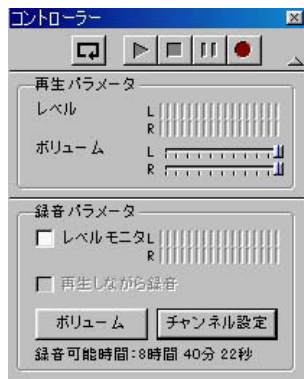
警告

レベルモニタにチェックを入れている時にFUNCTION SELECTORを切り替えないでください。

6. コントローラーウインドウの●（録音）をクリックすると録音が開始されますので、同時に録音したい音源の再生を行ってください。

7. コントローラーウインドウの■（録音停止）をクリックすると録音が終了します。

警告

録音中にFUNCTION SELECTORのデジタル/アナログを切り替えないください。

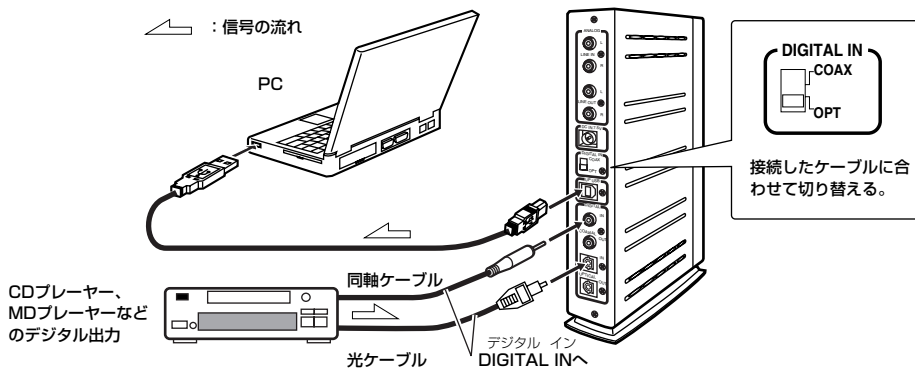
ご注意

サウンド編集ソフトによってはUSBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。

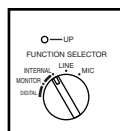
Windows

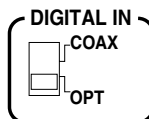
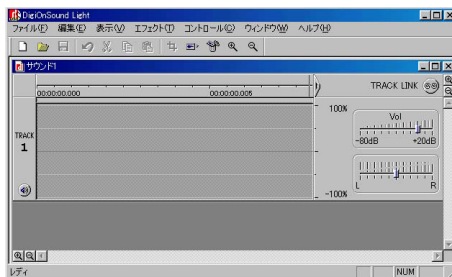
録音のしかた（Windows）

■ CDやMDのデジタル音声をパソコンに入力する

ここでは付属のDigiOnSound Lightを使った録音の方法をご紹介します。

1. デジタル再生させる機器を図のようにSE-U55本体に接続します。

2. SE-U55本体のFUNCTION SELECTORを「INTERNAL」に切り替えます（35ページ参照）。動作確認インジケーターが点灯しているかご確認ください。

ご注意

「LINE」や「MIC」などのアナログ入力から「INTERNAL」に切り替えた場合は、動作確認インジケーターが点滅したあと点灯に変われば切り替え完了です。

3. リアパネルにあるDIGITAL INのセレクタをご利用の端子に合わせて「COAX」または「OPT」に切り替えます。
   COAX：同軸ケーブルでCOAXIAL IN端子に接続している場合
   OPT：光ケーブルでOPTCAL IN端子に接続している場合

4. DigiOnSoundを立ち上げ、「ファイル」→「新規作成」を選択し、新規マルチトラックウインドウを開きます。

録音のしかた（Windows）

5. サンプリングレートを44.1kHz、16bit、ステレオに設定します。サンプリングレートは「ファイル」→「環境設定」→「サウンド形式」で選択します。ステレオ/モノラルはコントローラーウインドウで選択することができます。

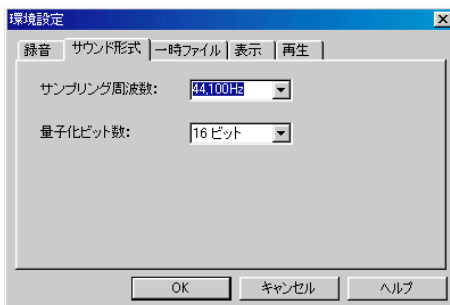
♪ヒント

より良い音声で楽しんでいただくために、録音にご利用されているお手持ちのソフトウェアでもサンプリングレートを44.1kHz、16bitステレオに設定されることをお勧めします。

6. コントローラーウインドウの●（録音）をクリックすると録音が開始されますので、同時に録音したい音源の再生を行ってください。

7. コントローラーウインドウの■（録音停止）をクリックすると録音が終了します。

ご注意

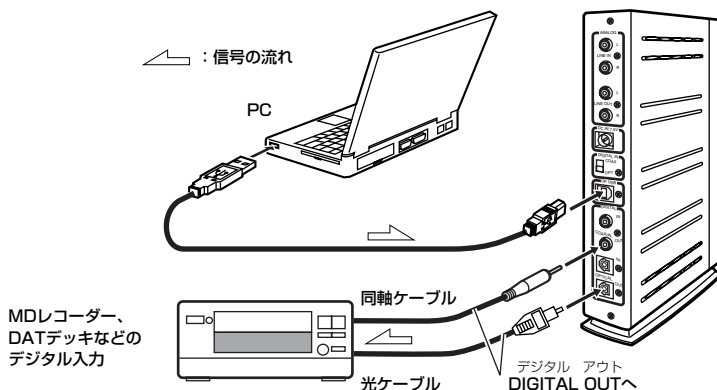
- 著作権保護された音声信号はデジタル入力端子からは入力されません。アナログ入力でご利用ください。
- サウンド編集ソフトによっては、USBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。

コントローラーウインドウの表示
「表示」→「コントロール」にチェックを入れる

■ デジタルインモニター機能

デジタルインの録音音声をモニターする場合は、入力切り替えスイッチ（FUNCTION SELECTOR）を「MONITOR」に合わせてください。この設定ではデジタルイン以外の音声がすべてミュートされます。復帰する場合は「INTERNAL」に戻してください。

録音のしかた（Windows）

■ PCからMDやDATへデジタル音声を出力する

1. 接続するデジタル機器を図のようにSE-U55本体に接続します。

2. FUNCTION SELECTORを「LINE」に切り替えます（35ページ参照）。
   動作確認インジケーターが点灯しているかご確認ください。

   ご注意

   「INTERNAL」や「MONITOR」から「LINE」に切り替えた場合は、動作確認インジケーターが点滅したあと点灯に変われば切り替え完了です。

3. PCの中の目的の音声を再生し、ご利用のデジタル入力ができる録音機器で録音してください。
   （再生の方法は18ページをご覧ください。）

ご注意

- FUNCTION SELECTORが「INTERNAL」または「MONITOR」に設定されているとデジタルアウトからは「LINE IN」への入力信号がモニター出力されます。サンプリング周波数は44.1kHzです。PCのアプリケーションソフトウェアからの音声をデジタル出力する場合には「LINE IN」を選択してください。
- LINEやMICから入力されたアナログ音声はリアルタイムでそのままデジタル端子からは出力されません。この場合、一旦WAVEファイルなどに保存してから出力を行ってください。

Windows

接続をはじめる前に（Mac）

必要なシステム構成

- iMac、iBook、または標準でUSB端子を持つ PowerMacintoshおよびPowerBookシリーズ
- 60 MB 以上のハードディスク空き容量
- 64 MB 以上のRAM
- CD-ROMドライブ（または相当品）
  付属のソフトウェアをインストールするために必要です。
- MacOS 9.0.4+Multimedia Update J-1.0以降
  （MacOS 9.0.4でもMultimedia Update J-1.0が実装されていない機種があります。）

MacOSについて

MacOS9.0.4以降が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

※ 本機はMacOS9.0以前のシステムでは動作しません。現在ご使用のシステムソフトウェアがMacOS9.0の場合MacOS9.0.4 +Multimedia Update J-1.0以降へシステムソフトウェアのアップデートが必要です。システムソフトウェアのアップデートについては、Mac本体の説明書をご参照ください。

ご注意

標準でUSBポートを持たないMacはサポートの対象外です。PCIボードなどによりUSBポートを増設しているMacについては本機の動作が正常に行われない場合があります。

> 必要な動作環境を満たすパソコンであっても、パソコンシリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機の動作が正常に行なわれない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は巻末記載のホームページにてご確認ください。

Mac

■ Windows/Mac切り替えスイッチの設定

接続するパソコンに合わせて、このスイッチを切り替えます。

ヒント

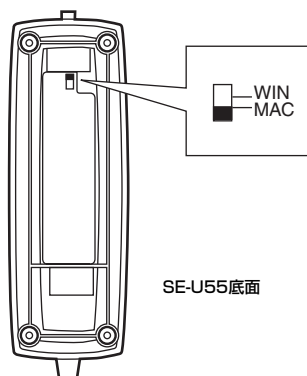
工場出荷時は、このスイッチはWIN側になっています。Macをご使用の場合は、接続する前に必ず設定しなおしてください。

1. Mac本体から、USBケーブルを抜きます。
2. SE-U55の底面にあるWindows/Mac切り替えスイッチを、MAC側に設定します。
3. USBケーブルを、Mac本体に接続します。

Windows/Macの切り替えが完了しました。

SE-U55底面

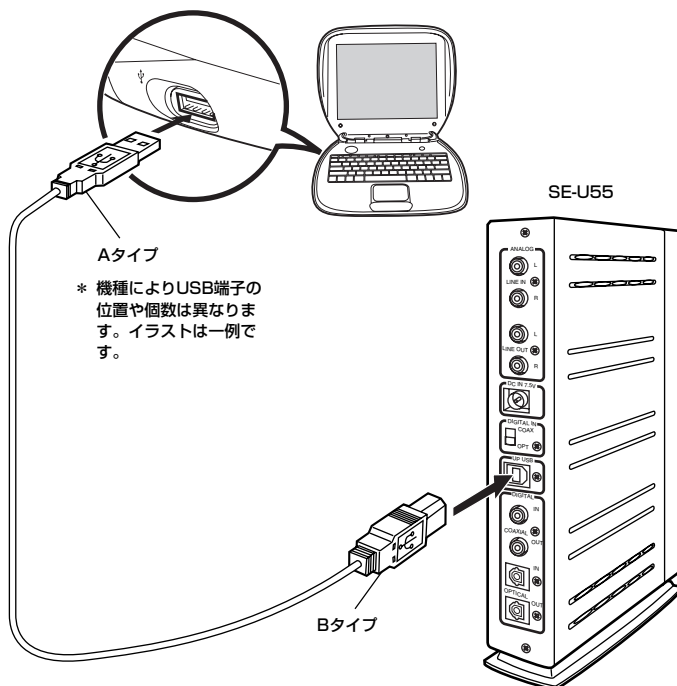
ご注意

Windows/Mac切り替えスイッチは、MacにSE-U55を接続したときに認識しますが、その後にスイッチを切り替えても認識しません。もしWindows/Macの設定を誤ってMacに接続したときは、一度USBケーブルを抜き、スイッチの設定を変更した後、再度USBケーブルを接続してください。

接続のしかた（Mac）

■ Macへ本機を接続する

1. 付属のUSBケーブルのAタイプのジャック（ ）をMacまたはMacに接続されたUSB HUB（ハブ）へ接続する。

♪ヒント

MacのUSBポートが2個以上ある場合はどのポートに接続しても構いません。

2. Bタイプのジャック( )をSE-U55のUSBアップポート（UP USB）へ接続する。

ご注意

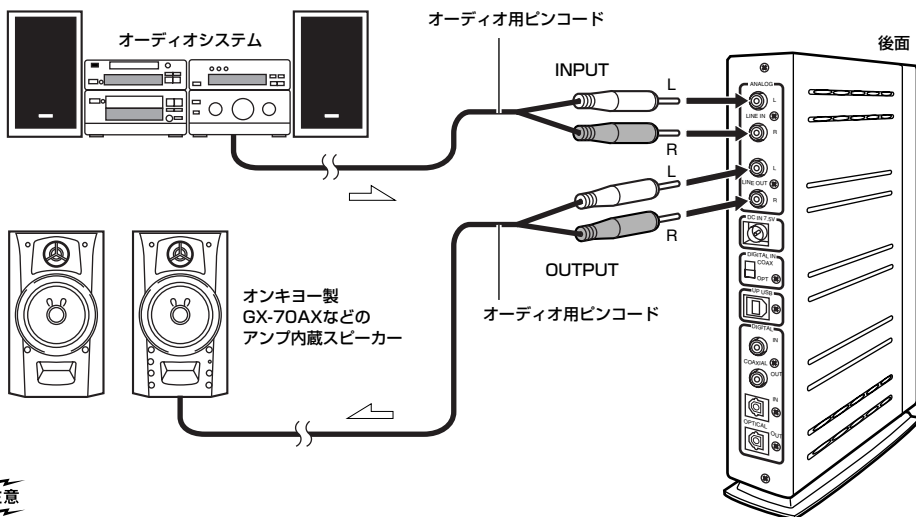
- 端子の抜き差しをする場合にはスピーカーの音量を絞ってください。
- 主にノートパソコンとの接続で、USBポートへの給電が充分でないためにSE-U55を正常に認識しない場合があります。その場合は別売の専用アダプター（型番：AD-0002）を接続してください。専用ACアダプターについては、巻末記載のサポートセンターにお問い合わせください。

接続のしかた（Mac）

■ オーディオシステムとの接続

■ パソコン用スピーカーとの接続

■ マイクとの接続

：信号の流れ

オーディオシステム
オーディオ用ピンコード
INPUT
L
R
後面
L
R
OUTPUT
オンキヨー製
GX-70AXなどの
アンプ内蔵スピーカー
オーディオ用ピンコード

ANALOG
LINE IN
LINE OUT
DC IN 7.5V
DIGITAL IN
COAX
OPT
UP USB
DIGITAL
COAXIAL
OPTICAL
IN
OUT

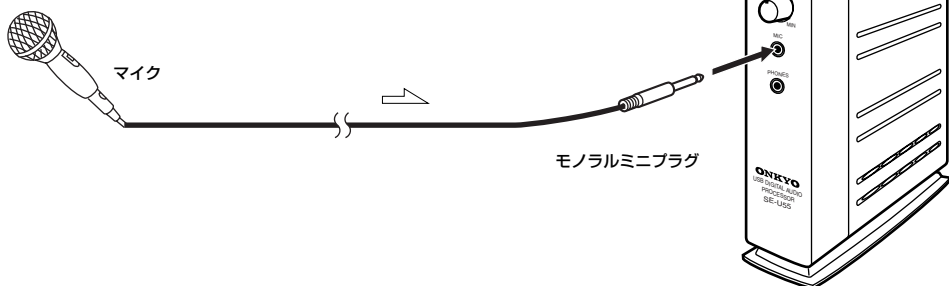
ご注意

SE-U55に入力された音声は、SE-U55のLINE OUTから出力されます。SE-U55に入力された音声をモニターする場合は、SE-U55のLINE OUTにアンプ付きスピーカー等を接続してください。サウンド機能を実装済みで直接パソコン本体にスピーカーが接続されているような場合、SE-U55に入力された音声をそのスピーカーでモニターすることはできません。

前面
UP
FUNCTION SELECTOR
INTERNAL
MONITOR
DIGITAL
LINE
MIC
INPUT LEVEL
PHONE LEVEL
MIN
MIC
PHONES
ONKYO
USB DIGITAL AUDIO PROCESSOR
SE-U55

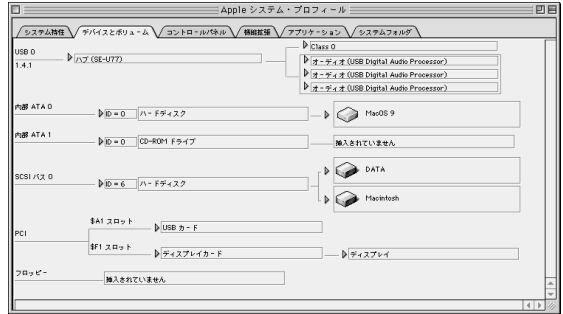
マイク
モノラルミニプラグ

Mac

ご注意

USBケーブル以外の接続をするときは、接続する機器の電源を切ってから行ってください。

パソコンの設定（Mac）

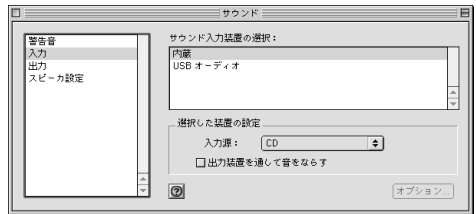
■ デバイスの確認

SE-U55をMacのUSBポートに接続します。アップルメニューから「Appleシステム・プロフィール」を開き、「デバイスとボリューム」タブを選択します。
正常に接続されている場合には「USB」の欄に「オーディオ（USB Digital Audio Processor）」と表示されます。

■ オーディオデバイスの確認

アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開き、サウンド入力装置、サウンド出力装置に「USBオーディオ」が表示されているか確認します。「USBオーディオ」が表示されていない場合、システムソフトウェアのバージョンが対応していない可能性があります。システムソフトウェアのバージョンを確認して必要なアップデート処理を行ってください。

♪ヒント

必要な動作環境を満たすシステム構成でもサウンド装置の欄に「USBオーディオ」が表示されない場合は、USBケーブルを一度抜き、再度接続してデバイスを再認識させてください。

入力

出力

パソコンの設定（Mac）

■ USBオーディオの設定

1. アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開き、「入力」を選びます。「サウンド入力装置の選択」を「USBオーディオ」に設定します。

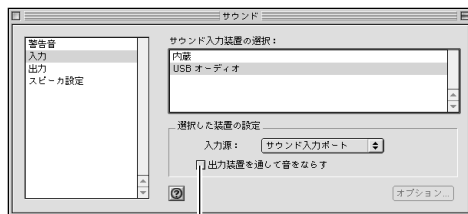
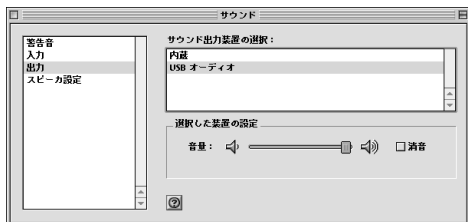
   ご注意

   「出力装置を通して音をならす」はチェックを入れないでください。

2. アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開き、「出力」を選びます。「サウンド出力装置の選択」を「USBオーディオ」に設定します。

※ Quick Time Playerが開いているときは変更できませんので、一度閉じてから設定してください。

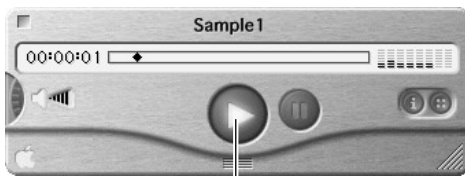
入力

出力

Mac

■ AIFFファイルの再生

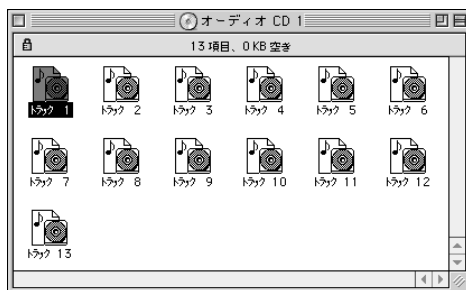
1.　Quick Time Playerを開きます。

2. Quick Time Playerが起動したら、「ファイル」メニューから「ムービーを開く」を選択します。付属のCD-ROMのSampleAIFFフォルダの中にある「Sample」を選択し、「変換」ボタンをクリックします。

3. プレイボタンをクリックすると、AIFFファイルが再生されます。

プレイボタン

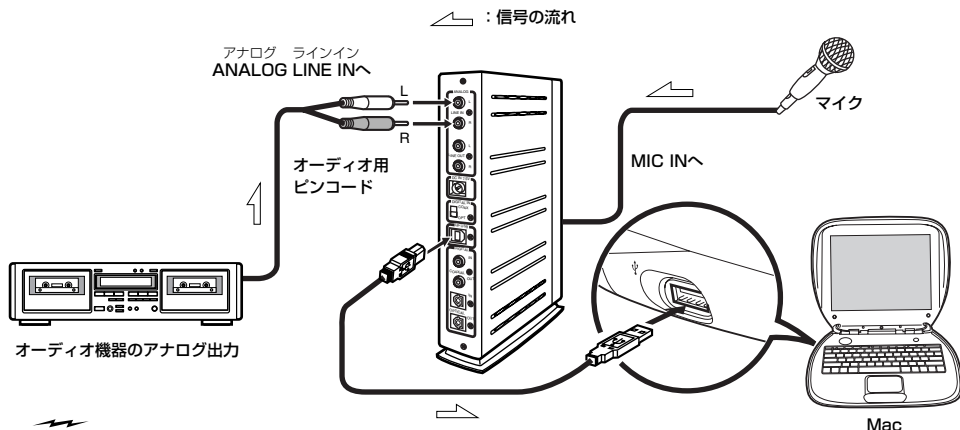
■ 音楽CDの再生

1. 音楽用CDをCD-ROMドライブにセットします。
2. アップルメニューから「コントロールパネル」→「サウンド」を開いて「入力」を選び、「サウンド入力装置の選択」を「内蔵CD」に設定します。
3. 音楽用CDのオーディオトラックをダブルクリックします。音楽用CDが再生されます。

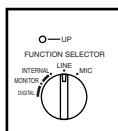
※　QuickTimeコントロールの設定で自動再生の設定になっている場合は音楽用CDは自動的に再生されます。

録音のしかた（Mac）

■ マイクやLine入力のアナログ音声をMacに入力する

ここではSimple Soundを使った録音の方法をご紹介します。

1. アナログ再生させる機器を図の様にSE-U55本体に接続します。

ご注意

レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーを通して接続するか、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーをお使いください。

2. SE-U55本体のFUNCTION SELECTORを録音するソースに合わせ、「LINE」または「MIC」を選択します（35ページ参照）。動作確認インジケーターが点灯しているかご確認ください。

ご注意

「MONITOR」や「INTERNAL」などのデジタル入力から「LINE」や「MIC」に切り替えた場合は、動作確認インジケーターが点滅したあと点灯に変われば切り替え完了です。

3. システムの入っているHDD→「アプリケーション」→「Simple Sound」を選択します。

4. 「サウンド」の中から録音したい音源に合わせてサンプリングレートを選択してください。

ヒント

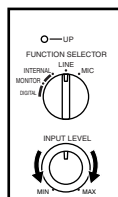
より良い音声で楽しんでいただくために、録音にご利用されているソフトウェアのサンプリングレートを44.1kHz、16bit、ステレオに設定されることをお勧めします。「サウンド」の中の「CD用」は44.1kHz、16bit、ステレオです。

5. 「ファイル」→「新規」を選択し録音画面を出します。

Mac

録音のしかた（Mac）

6. 本体のINPUT LEVELを調節します。
7. ● （録音ボタン）をクリックすると録音が開始されますので、同時に録音したい音源の再生を行ってください。
8. ■ （停止ボタン）をクリックすると録音が停止します。

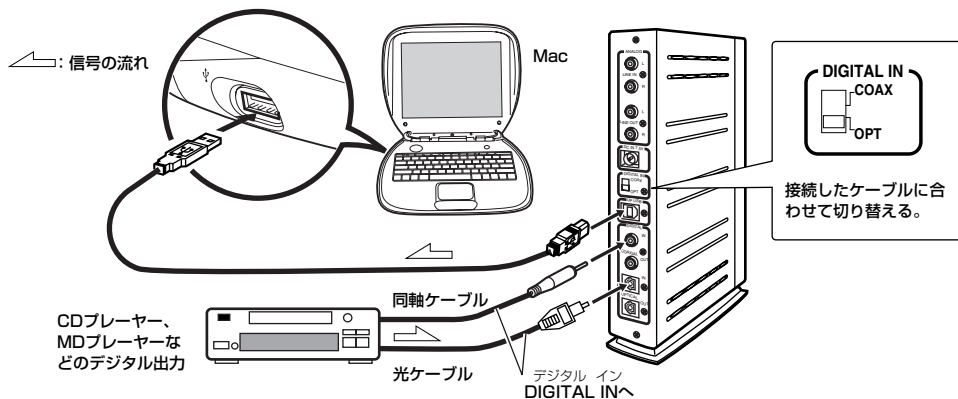
警告

録音中にFUNCTION SELECTORのデジタル（「INTERNAL」「MONITOR」）/アナログ（「LINE」「MIC」）を切り替えないください。

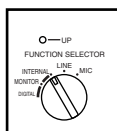
ご注意

サウンド編集ソフトによってはUSBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。

■ CDやMDのデジタル音声をMacに入力する

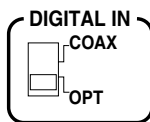
ここではSimple Soundを使った録音の方法をご紹介します。

1. デジタル再生させる機器を図の様にSE-U55本体に接続します。

2. SE-U55本体のFUNCTION SELECTORを「INTERNAL」に切り替えます（35ページ参照）。動作確認インジケーターが点灯しているかご確認ください。

ご注意

「LINE」や「MIC」などのアナログ入力から「INTERNAL」に切り替えた場合は、動作確認インジケーターが点滅したあと点灯に変われば切り替え完了です。

録音のしかた（Mac）

3. リアパネルにあるDIGITAL INのセレクタをご利用の端子に合わせて「COAX」または「OPT」に切り替えます。
   COAX：同軸ケーブルでCOAXIAL IN端子に接続している場合
   OPT：光ケーブルでOPTCAL IN端子に接続している場合

DIGITAL IN
COAX
OPT

4. システムの入っているHDD→「アプリケーション」→「Simple Sound」を選択します。
5. 「サウンド」の中から録音したい音源に合わせてサンプリングレートを選択してください。

より良い音声で楽しんでいただくために、録音にご利用されているソフトウェアのサンプリングレートを44.1kHz、16bit、ステレオに設定されることをお勧めします。「サウンド」の中の「CD用」は44.1kHz、16bit、ステレオです。

6. 「ファイル」→「新規」を選択し録音画面を出します。

7. ●（録音ボタン）をクリックすると録音が開始されますので、同時に録音したい音源の再生を行ってください。
8. ■（停止ボタン）をクリックすると録音が停止します。

警告

録音中にFUNCTION SELECTORのデジタル/アナログを切り替えないください。

ご注意

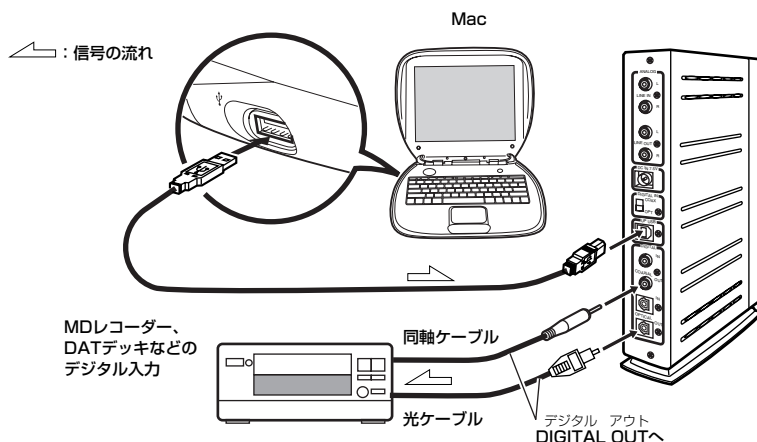
- 著作権保護された音声信号はデジタル入力端子からは入力されません。アナログ入力でご利用ください。
- サウンド編集ソフトによっては、USBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。

■ デジタルインモニター機能

デジタルインの録音音声をモニターする場合は、入力切り替えスイッチ（FUNCTION SELECTOR）を「MONITOR」に合わせてください。デジタルイン以外の音声がミュートされます。復帰する場合は「INTERNAL」に戻してください。

録音のしかた（Mac）

■ MacからMDやDATへデジタル音声を出力する

1．接続するデジタル機器を図の様にSE-U55本体に接続します。

2．FUNCTION SELECTORを「LINE」に切り替えます（35ページ参照）。
動作確認インジケーターが点灯しているかご確認ください。

ご注意

「INTERNAL」や「MONITOR」から「LINE」に切り替えた場合は、動作確認インジケーターが点滅したあと点灯に変われば切り替え完了です。

3．Macの中の目的の音声を再生し、ご利用のデジタル入力ができる録音機器で録音してください。
（再生の方法は30ページをご覧ください。）

ご注意

- FUNCTION SELECTORが「INTERNAL」または「MONITOR」に設定されているとデジタルアウトからは「LINE IN」への入力信号がモニター出力されます。サンプリング周波数は44.1kHzです。Macのアプリケーションソフトウェアからの音声をデジタル出力する場合には「LINE IN」を選択してください。
- LINEやMICから入力されたアナログ音声はリアルタイムでそのままデジタル端子からは出力されません。この場合、一旦AIFFファイルなどに保存してから出力を行ってください。

Mac

FUNCTION SELECTORについて

■ FUNCTION SELECTORの位置とハードディスク録音で入力される音声

入力で使用する入力端子に合わせてセレクタの位置を表1のように切り替えます。

表1

セレクタの位置 ＼ 入力端子		アナログ		デジタル
		MIC IN	LINE IN	(COAX/OPT)
アナログ	MIC	○		
	LINE		○	
デジタル	INTERNAL			○*1
	MONITOR			○*1

＊1 デジタル入力では「INTERNAL」「MONITOR」いずれの位置でも入力できますが本体後ろのリアパネルで「COAX」、「OPT」の切り替えが必要です。

デジタル入力の時は「INTERNAL」「MONITER」を切り替えることによって、LINE OUT/PHONESでのモニターできるソースが選べます。

■ FUNCTION SELECTORの位置と外部接続機器へ出力される音声

録音の際には入力する音声に従ってセレクタを切り替えることが必要です。（表1参照）
そのときにどの音がモニターされているかを表2で表しています。

表2

セレクタの位置 ＼ 出力先		アナログ LINE OUT&PHONES	デジタル (COAX/OPT)
アナログ	MIC	MIC INとパソコンの音声	パソコンの音声
	LINE	LINE INとパソコンの音声	パソコンの音声
デジタル	INTERNAL	LINE INとパソコンの音声	COAXまたはOPT
	MONITOR	COAXまたはOPT	COAXまたはOPT

パソコンの音声：WAVE、MP3などのサウンドファイル、CD-ROMドライブの音楽CD

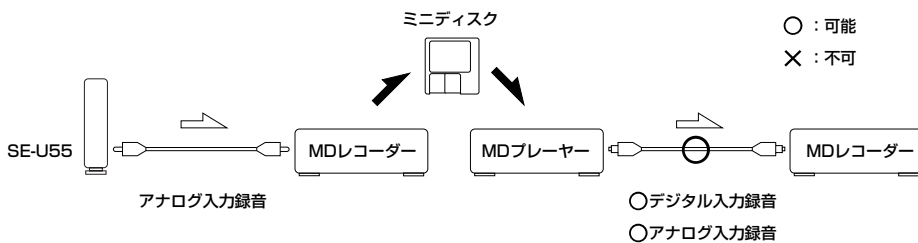
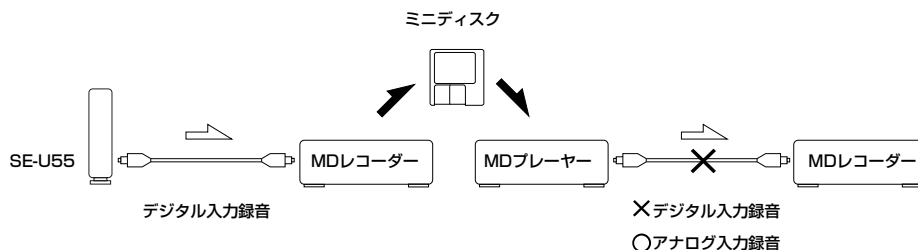
LINEやMICから入力されたアナログ音声はリアルタイムでデジタル端子からは出力されません。
この場合、いったんWAVEファイルなどに保存してから出力を行ってください。

コピーガードシステムについて

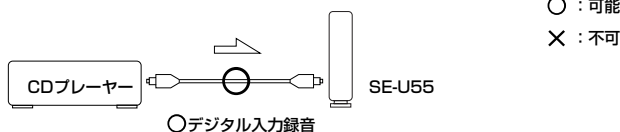
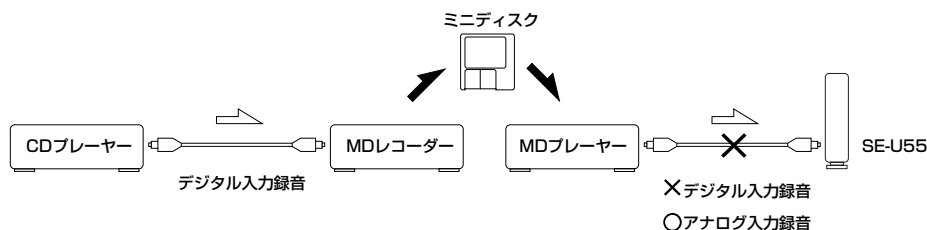
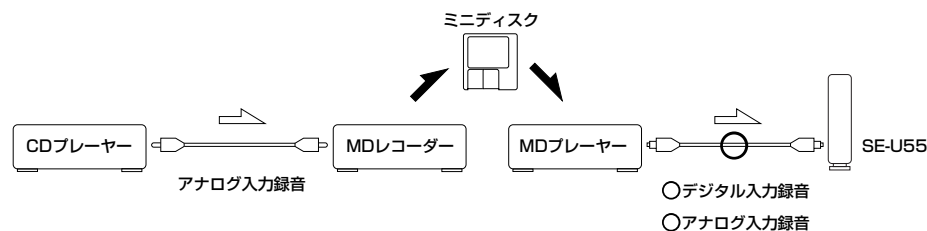
■ 本機のコピーガードシステムについて

本機のデジタル入力はコピーガードシステムによって保護されております。
このシステムはデジタル信号をデジタル信号のまま録音することが可能ですが、後述の制限事項がございます。
また、この制限事項は著作権の保護を目的としており、著作権を侵害するような動作を制限するために設けられております。

- 本機のデジタル出力からMDやDATなどにデジタル録音した信号は、デジタル信号のまま他のメディアに録音することはできません。

1. 本機に記録されている音声データを一旦アナログ信号として録音したMDからデジタル信号としてMDレコーダーに入力することは可能です。

2. 本機からデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、MDプレーヤーへデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

コピーガードシステムについて

- CDやMD、DATなどデジタル信号で音声データを記録しているメディアから本機のデジタル入力端子に直接デジタル信号を入力することができます。
  ただし、一度デジタル信号からデジタル信号のまま録音された音声データを本機に入力した場合、録音はできません。また、本機を通してのモニタリングもできません。

1. CDから直接デジタル信号で入力された音声データは、本機へデジタル入力することができ、録音・モニタリングも可能です。

2. CDからデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、本機へデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

3. CDに記録されている音声データを一旦アナログ信号として録音したMDからデジタル信号として本機に入力することは可能です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

FUSEについて

■ Rhythmic Circle FUSEについて

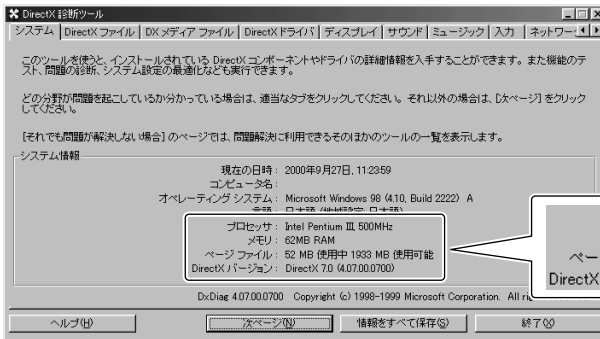
Rhythmic Circle FUSEは再生する音楽に連動して映像を変化させるVJソフトです。
画像とエフェクト機能を組み合わせることで、音楽の再生中に次々と映像を変化させ、音楽と一体感のある映像を楽しむことができます。また、ビデオ入力した映像も使用することができます。

■ インストールをはじめる前に

FUSEのインストールには約250MBのハードディスク容量が必要となります。あらかじめインストールされるハードディスクの空き容量をご確認ください。
また、お使いのシステムに以下の環境がインストールされているかを確認してください。

- Microsoft DirectX7.0a
- Microsoft DirectX Media6.1
- Apple QuickTime4.12J

♪ヒント

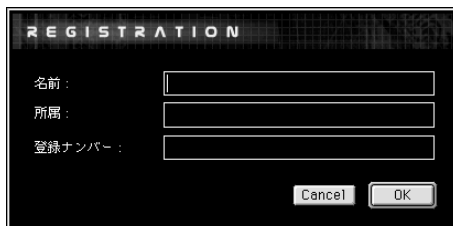
- FUSEはDirectX7.0a以降で動作します。ご使用のPCのDirectXのバージョンをご確認の上、バージョンが古い場合は「Rhythmic Circle FUSE」フォルダの中の「DirectX7.0a」フォルダにある「dx7ajpn.exe」でアップデートを行ってください。
- DirectXのバージョンは「Program Files」→「DirectX」→「Setup」→「DxDiag」を起動して「DirectX診断ツール」の中の「システム」で確認できます。
- Apple QuickTime4.12Jは、ご使用のパソコンによっては装備されていない場合があります。そのようなときは、Apple社のホームページからダウンロードしてください。

FUSEについて

■ Rhythmic Circle FUSEのインストール方法（Windows）

1. はじめにそれまで実行していた全てのアプリケーションを終了してください。
2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
3. 「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMが接続されているドライブを開いてください。
4. 「Rhythmic Circle FUSE」→「app」の中の「Setup.exe」をダブルクリックし、PCのインストールガイドに沿って作業を進めてください。
5. 「ユーザーの情報」画面で、名前、会社名、シリアル番号**「RCF0100004174931」**（裏表紙にも記載）を入力する必要があります。会社名の欄はお名前でも結構です。入力が終了したら「次へ」をクリックします。

■ Rhythmic Circle FUSEのインストール方法（Mac）

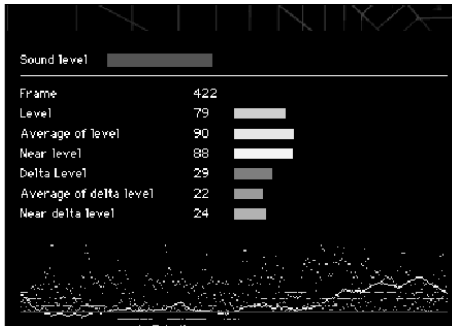
1. はじめにそれまで実行していた全てのアプリケーションを終了してください。
2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
3. 付属のCD-ROMから「Rhythmic Circle FUSE」フォルダをMacのインストールしたいフォルダにコピーします。

4. コピーが完了したら、フォルダを開き、「Rhythmic Circle FUSE1.5J」アイコンをダブルクリックして起動します。
5. 最初の起動時に、名前、所属とシリアルナンバー**「RCF0100004174931」**（裏表紙にも記載）を入力する必要があります。所属の欄はお名前でも結構です。入力が終了したら右のOKボタンをクリックします。

FUSEについて

■ Rhythmic Circle FUSEの使い方

本製品はSE-U55で選択された入力音源に合わせて映像パフォーマンスを楽しむことができます。

音声が認識されているか確認する

グラフのレベルモニターが反応していることを確認します。

画像の切り替え

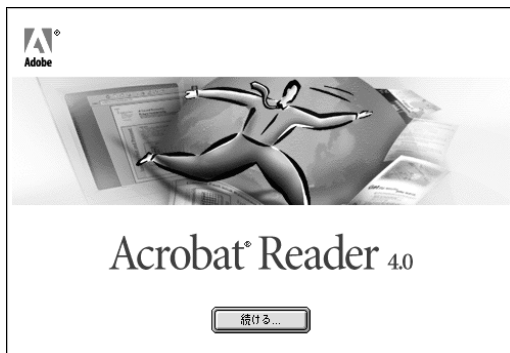
チャンネルAとチャンネルBの２つのチャンネルがあります。「PLAY」している方の映像がモニター画面に映ります。

機能の説明

SHAPE	「SHAPE」を選択し、「IMAGE」から画像を選びます。さまざまな特殊効果が加わって、画面の前面に表示されます。
BACK	「BACK」を選択し、「IMAGE」から画像を選びます。バックグラウンドとなる画像で、そのまま表示されます。
PATTERN	「PATTERN」を選択し、画面右の「PATTERN」から画像を選びます。音に反応して動いたり、単純にモザイク等の特殊効果をかけたり、オシロスコープのような波形を表示したりします。

上記3つの組み合わせにより、様々な映像パターンを創り出すことができます。

Acrobat Readerについて

付属のCD-ROMに入っているCarryOn MusicのヘルプはPDF形式のファイルですので、これを読むためにはまずAcrobat Readerがインストールされていることをご確認ください。
インストールされていない場合は、まず下記の「■ Acrobat Readerのインストール」にしたがって操作を進めてください。

■ Acrobat Reader のインストール

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. CD-ROMを開きます。
3. 次に「Adobe」フォルダを開きます。
4. フォルダ内にある「ar405jpn.exe」（Macの場合は「Japanese Reader Installer」）をダブルクリックします。
   ファイルの抽出が始まります。
5. あとは画面の指示にしたがってください。次の画面へ行くには「続ける...」をクリックします。

■ Acrobat Readerの基本操作

メニューバーとツールバー

マニュアルファイルを起動すると、画面の上部に図のような画面が表示されます。

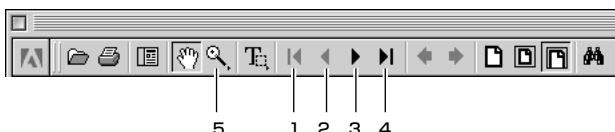
1. 先頭ページを開きます。

2. 前のページに戻ります。

3. 次のページへ進みます。

4. 最後のページを開きます。

5. ページを拡大表示します。

5　1　2　3　4

その他
メニューバーの中から「ヘルプ」を選び、「Reader オンラインガイド」を選択します。
操作方法を詳しくお知りになりたい場合は、このオンラインガイドをご利用ください。

故障かな？と思ったら

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th colspan="2">処置</th></tr>
<tr><td>機器を認識しない。</td><td>• 接続が不完全。</td><td colspan="2">• 取扱説明書の「接続のしかた」を参照して、USBケーブルを通じて機器をパソコンに確実に接続してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>• 接続しているハブに問題がある。</td><td colspan="2">• ハブを経由して接続している場合は、ハブが動作しているかどうかをハブの取扱説明書にしたがって確認してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>• WIN/MACスイッチの設定間違い。</td><td colspan="2">• USBケーブルを抜き、お使いのパソコンに合わせてスイッチを正しく設定し、再度USBケーブルを接続してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>• デバイスの一部を認識しない。</td><td colspan="2">• USBケーブルを抜き、10秒ほど待って再接続してみてください。システムが不安定になっている場合は再起動を試してください。</td></tr>
<tr><td>ANA/DIG切り替え時にパソコンが不安定になる。</td><td>• 音声出力を行ったまま切り替えを行った。</td><td colspan="2">• OSの仕様上、音声出力を行ったまま切り替えを行うと、OSが不安定になる可能性があります。ANA/DIGを切り替える時は、音声出力を停止してください。
（ANA/DIG切り替えとは、FUNCTION SELECTORをMIC/LINE（ANA）とINTERNAL/MONITOR（DIG）を切り替えることを示します。）</td></tr>
<tr><td></td><td>• 録音レベルモニターを表示させたまま切り替えを行った。</td><td colspan="2">• ANA/DIGを切り替える時は、必ず録音レベルモニター機能を停止させてから切り替えを行ってください。</td></tr>
<tr><td>音声が出ない。</td><td></td><td>（Windows）</td><td>（Mac）</td></tr>
<tr><td></td><td>• ミュートされている。</td><td>• タスクバーのアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きミュートのチェックをはずします。</td><td>• コントロールパネルから「サウンド」を開き、「消音」のチェックをはずします。</td></tr>
<tr><td></td><td>• 出力レベルが小さい。</td><td>• タスクバーのアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きボリュームをすべて最大値に設定します。</td><td>• コントロールパネルから「サウンド」を開き音量を適切な値に設定してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>• 他の音声出力デバイスが使用されている。</td><td>• コントロールパネルから「マルチメディアのプロパティ」を開き、「優先するデバイス」として「USBオーディオデバイス」を選択してください。</td><td>• コントロールパネルから「サウンド」を開き、「出力」の「サウンド出力装置の選択」から「USBオーディオ」を選択してください。</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音声が出ない。 （つづき）	• FUNCTION SELECTOR が MONITORになっている。 • 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• FUNCTION SELECTORがMONITORになっているとDIGITAL IN端子に入力された信号が出力され、アナログ入力およびパソコンの音声は出力されません。ご使用になる入力にあわせてFUNCTION SELECTORをINTERNAL/LINE/MICに切り替えてご使用ください。 • LINE OUT端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。
内蔵スピーカーから音声が出ない。	• USBオーディオデバイスが優先されている。	• USBオーディオデバイスが優先されているため、内蔵スピーカーからは音声が出力されません。内蔵スピーカーから一時的に音声を出力させるためには、本機からUSBケーブルを抜いてください。内蔵スピーカーのご使用後はUSBケーブルを再度接続してください。
ヘッドホンが聞こえない。	• ヘッドホンボリュームが下がっている。	• ヘッドホンレベル調整つまみで音量を調整できます。最適な音量になるようつまみを調整してください。それでも聞こえない場合、「音が出ない」の項を参照してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。	（Windows） • タスクバーのアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きバランスを調整してください。 （Mac） • MACではバランス調整には対応していません。外部スピーカー項目を参照してください。（MacOS9.0.4以前）
	• 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• 接続している外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。	• システムがCD-ROMドライブからのデジタル音声ストリームに対応していない場合、USB経由ではCD-ROMドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をライン入力に接続し、音量を適当な値に調節してください。
ゲームのBGMが出力されない。	• BGMにCD出力が使用されている。	• 「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目を参照してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
マイク音声が入力できない。	• マイクの接続が不完全。 • マイクの適合性に問題がある。 • 入力レベルが下がっている。 • FUNCTION SELECTORがMICになっていない。	• マイクを確実に接続してください。 • ミニプラグのマイクをご使用ください。 • INPUT LEVELつまみで入力レベルを調整してください。 • FUNCTION SELECTORをMICに合わせてください。
ライン音声が入力できない。	• ライン入力の接続が不完全。 • 外部機器から音声が出力されていない。 • ライン入力ボリュームが小さい。 • レコードプレーヤーを直接接続している。 • FUNCTION SELECTORの設定違い。	• 外部からライン入力に確実に接続してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。 • 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。 • INPUT LEVELつまみを適切な位置に調整してください。 • レコードプレーヤーを本機に直接接続することはできません。お手持ちのレコードプレーヤーおよびカートリッジに合わせたイコライザーアンプを通して接続してください。 • FUNCTION SELECTORをLINEに設定してください。INTERNALでは、LINE OUT、PHONESには出力されますが録音できません。
デジタル出力が外部機器に入力されない。	• FUNCTION SELECTORの設定違い。 • 外部機器のサンプリング周波数が適合していない。 • 外部機器との接続に問題がある。	• FUNCTION SELECTORを35ページの「FUNCTION SELECTORについて」を参考に正しく設定し直してください。 • デジタル出力のサンプリング周波数は44.1kHzです。お手持ちの機器の取扱説明書を参照して、出力サンプリング周波数に対応しているかどうかお確かめください。 • 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合はケーブルをお確かめください。
パソコンの音声がデジタル出力されない。	• FUNCTION SELECTORの設定違い。	• FUNCTION SELECTORをLINEに設定してください。「デジタル出力が外部機器に入力されない」の項を参照してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置（Windows）	処置（Mac）
録音できない。	• 他の音声入力デバイスが使用されている 。	• コントロールパネルの「マルチメディアのプロパティ」を開き「録音」の「優先するデバイス」から「USBオーディオデバイス」を選択してください。 それでも録音できない時は「優先するデバイスのみを使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。	• コントロールパネルから「サウンド」を開き、「入力」の「サウンド入力装置の選択」から「USBオーディオ」を選択してください。
デジタル入力信号が録音できない。	• FUNCTION SELECTORの設定違い。 • 入力信号がコピーガードされている。 • 入力端子が異なっている。 • 外部機器との接続に問題がある。	• FUNCTION SELECTORをINTERNALあるいはMONITORに設定してください。 • 本機のデジタル入力はコピーガードシステムにより保護されているため、コピー不可に設定されているデジタル信号は録音できません。詳しくは36、37ページを参照してください。 • デジタル入力は光（OPT）あるいは同軸（COAX）入力のいずれかを選択できます。お使いになる端子にあわせてDIGITAL INスイッチを設定してください。 • 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合は、ケーブルをお確かめください。	
音が途切れる。	• 音声出力、入力中に負荷のかかる作業を行っている。 • 音声出力、入力中に他のUSB機器を抜き差しした。 • CPUの処理が再生に追いついていない。	• 特に録音をされる場合には、CPUに負担のかかる作業は控えてください。 • 音声の再生・録音中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。 • CPUが推奨スペックを満たしていない場合は、期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でもCPUが非常に高負荷の状態である場合には音が途切れることがあります。この場合は、他のアプリケーションをすべて終了させてください。	

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
雑音が多い。	• テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。 • マイクから雑音が入力されている。 • 各入出力端子の接続が不完全。	• テレビなどから十分に離して置いてください。 • マイクから雑音を拾うことがありますので、マイクを使用しないときは、FUNCTION SELECTORをMIC以外に設定してください。 • 本書12、13ページ（Windows）、26、27ページ（Mac）を参照して確実に接続してください。

製品の故障により、正常に録音ができなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

♪音のエチケット
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

主な仕様

WAVIO Sound Engine

型番	SE-U55
形式	USBデジタルオーディオプロセッサ
接続方式	USB (Universal Serial Bus Ver. 1.1)
サンプリング周波数	
デジタルIN	32/44.1/48 kHz 対応
デジタルOUT	44.1 kHz
周波数特性	0.3 Hz～20 kHz (＋0/－0.5 dB、LINE OUT)
SN比	100 dB (A-Filter)
全高調波歪率	0.002 % (1 kHz、0 dB)
出力レベル	1.0 Vrms
ライン入力レベル	250 mVrms
マイク入力感度	5.0 mVrms
電源	USB供給、別売DC7.5V（専用ACアダプター）
消費電流	400 mA
外形寸法（幅×高さ×奥行）	50 x 216.2 x 166 mm
質量	600 g

※　仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書について

この製品には、保証書を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときには、商品と保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店または当社サポートセンターにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（SE-U55）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店または当社サポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

電話でのお問い合わせ：072-831-7305

サポート時間：月～金曜日
（祝日および当社指定休日を除く）
10:00～12:00、
13:00～17:00

FAXでのお問い合わせ：03-5204-3188

手紙でのお問い合わせ、修理品のご送付：
〒572-8540
大阪府寝屋川市日新町2番1号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

E-mailでのお問い合わせ：vox@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://mmc.onkyo.co.jp/
をご参照ください。

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日　：　　　　年　　月　　日

ご購入店名　：

Tel.

メモ：

DigiOnSoundシリアルNo.
DGON-003-763357-9FW8G5

Rhythmic Circle FUSEシリアルNo.
RCF0100004174931

SE-U55のお客様登録用シリアルNoは、本体底面に記載されています。

ONKYO
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

Printed in Japan
D0103-2
SN29343006A